

小児科（新生児）

1. 概要

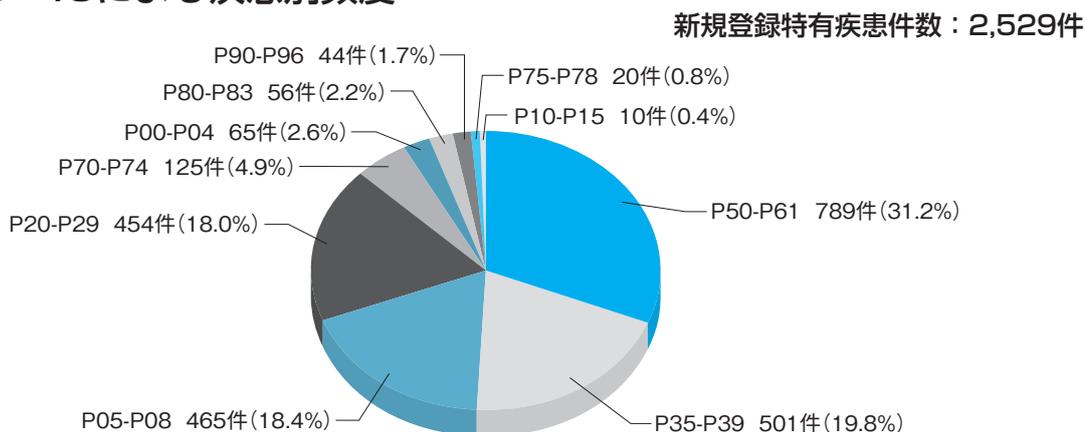
豊橋市民病院新生児医療センターは、東三河地区唯一の総合周産期母子医療センターに指定されている。

2015年の入院数は447例で内328例は院内出生であった。院外出生例においては医師が救急車に同乗して搬送しており、24時間体制で高度な医療を迅速に提供している。一部の外科的治療が必要な例は他施設への搬送を要する例もあるが、その場合も医師が同乗し責任をもって搬送にあたっている。NO吸入療法や低体温療法など最先端の医療技術を提供し、東三河地区の新生児救命率の向上に貢献しているが、2015年には超低出生体重児を中心に救命困難例も経験しており、更なる救命率の向上が望まれる。新生児期の医療提供以外に、医師、看護師、理学療法士、臨床心理士が連携し、患児発達支援や両親の心のサポートも提供している。

臨床面のみでなく学術面においても、当センターで得られた貴重な医学的知見を学会及び医学誌で積極的に発表している。

（第二部長 幸脇 正典）

2. ICD-10による疾患別頻度



ICD-10 中間分類項目
P50-P61：胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
P35-P39：周産期に特異的な感染症
P05-P08：妊娠期間及び胎児発育に関連する障害
P20-P29：周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
P70-P74：胎児及び新生児に特異的な一過性の内分泌障害及び代謝障害
P00-P04：母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児
P80-P83：胎児及び新生児の外皮及び体温調節に関連する病態
P90-P96：周産期に発生したその他の障害
P75-P78：胎児及び新生児の消化器系障害
P10-P15：出産外傷

3. 活動報告

(1) 出生在胎週数別入院患者数

出生在胎(週)	症例数(件)
22～23	3
24～27	13
28～33	68
34～36	125
37～	238
計	447

(2) 出生体重別入院患者数

出生体重(g)	症例数(件)
～499	0
500～999	22
1000～1499	30
1500～1999	74
2000～2499	116
2500～	205
計	447

(3) 出生院別入院患者数

出生院	症例数(件)
豊橋市民病院	328
パークベルクリニック	27
小石マタニティクリニック	30
マミーローズクリニック	17
中岡レディースクリニック	15
今泉産婦人科医院	2
豊川市民病院	10
ジュンレディースクリニック豊橋	5
渡辺レディースクリニック	4
愛知厚生連 渥美病院	5
オレンジベルクリニック	2
静岡厚生連 遠州病院	1
蒲郡市民病院	1
計	447

(4) NMC 入院児 死亡退院例

	在胎週数	出生体重 (g)	死亡日齡(日)	死亡原因
1	24 週 2 日	7 3 0	9	壊死性腸炎
2	25 週 3 日	7 9 6	1 4	Wilson-Mikity 症候群
3	23 週 0 日	5 0 4	3 4	壊死性腸炎
4	39 週 2 日	3, 7 1 5	3 0	帽状腱膜下出血
5	26 週 6 日	5 2 7	9 8	壊死性腸炎
6	25 週 3 日	8 5 0	4 2	壊死性腸炎
7	38 週 1 日	2, 8 3 0	0	帽状腱膜下出血
8	24 週 1 日	5 6 3	1 4	早発型大腸菌敗血症

(5) 蘇生時死亡例

	在胎週数	出生体重 (g)	死亡日齡(日)
1	29 週 6 日	1, 3 3 8	0
2	24 週 4 日	6 1 8	0